

輝く！紀の国の教育

和歌山県の中学生が、ネット被害にあわないために、自分たちは何ができるかについて熱心に話し合い、その内容を『ケータイ「和歌山宣言」』としてまとめ、県内すべての学校に発信しました

特集

ネット被害から
子供を守るために



ケータイ「和歌山宣言」

私たちの **わ** **や** **か** **き** 4ヶ条

わ すれないで インターネットの **危険性**

か んがえよう その **情報** は正しいの？

や めよう **長時間** のケータイ使用

ま もろう 私とあなたの **個人情報**

この宣言は、平成26年度「和歌山県中学生熟議」に参加した中学生の協議をもとに作成したものです。

中学生熟議「ケータイ「和歌山宣言」」

携帯電話やスマートフォンは、私たちの生活の中に広く普及し、情報社会を生きていく中で必要な道具となっています。最近では、子供たちも自分の携帯電話やスマートフォンを持ち、調べ物をしたり、メールやゲームなどを利用することが多くなりました。

一方で、誤った使い方をして個人情報が流出したり、いじめなどのトラブルや様々な犯罪に巻き込まれたりするなどの問題が発生しています。子供の安全を守るためには、大人が現状を知り、子供たちを危険から守る手立てを考えておくことが大切です。

今回の特集では、携帯電話やスマートフォンの危険性から子供たちを守るための様々な取り組みを紹介します。



PTAと連携した、ネットトラブルについて理解を深める研修会



ネット被害から子供を守るために 保護者の皆さん、ご存知ですか？



本県の子供たちは、携帯電話やスマートフォンを、全国平均よりも長い時間使用しているという結果が出ています。携帯電話やスマートフォンを長い時間使用することは、家庭での学習時間の減少にもつながるなど、学習への影響も懸念されています。

さらに、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）やコミュニケーションアプリの利用によるトラブルも急増しています。

携帯電話・スマートフォンの使用時間に課題！

本県の子供たちが携帯電話やスマートフォンで通話やメール・インターネット（ゲームを除く）をする時間

（平日（月～金）1日当たり）

（単位：%）

	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	持っていない
小学校（本県）	3.3	2.8	4.5	7.8	11.7	29.1	40.7
小学校（全国）	3.1	2.6	4.1	7.1	11.1	30.0	42.0
中学校（本県）	13.2	9.2	13.3	15.8	14.2	16.2	17.8
中学校（全国）	9.9	8.3	13.1	16.3	14.2	16.5	21.4

（「平成27年度全国学力・学習状況調査」において、小学校6年生・中学校3年生が回答した結果から作成。回答の中には無回答の児童生徒が含まれているため、各項目の合計が100%になっていない。）

本県の小・中学生の携帯電話・スマートフォンの所有率は、小学生では59.3%と全国平均に比べて1.3%、中学生では82.1%と全国平均に比べて3.6%高くなっています。また、使用時間も、2時間以上使用する割合は、小学生で10.6%と全国平均に比べて0.8%、中学生では35.7%と全国平均に比べて4.4%高い状況です。



携帯電話・スマートフォンの所有率や使用時間の増加に伴い、子供たちが様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加しています。次に紹介する事例は、実際に起きたトラブルを基に作成していますが、どれも身近に起こりうるものです。トラブルに巻き込まれないためには何が必要か、ご家庭でぜひ話し合ってみてください。

事例1

AとBは、お互いのスマートフォンで色んな表情やポーズを撮って遊んでいた。後日、Aは多くの友達に自分たちの画像を見せようと思い、Bに無断で画像をSNSに投稿した。

このことが原因で、Bはクラスメイトからのいじめにあってしまった。

事例2

CはDになりすまし、Eの悪口をコミュニケーションアプリに書き込んだ。これについて、EはDに問いただしたが、Dは「知らない」と否定したため、Eは友人数名とともにDに対して集団で暴力行為に及んだ。後日、Dは無関係だったことが判明した。

事例3

Fは念願のスマートフォンを両親に買ってもらった。最初は、両親と約束した使用時間を守って使っていたが、次第に携帯ゲームに夢中になり、生活のリズムが乱れ、ゲームの課金もかさんできた。見かねた両親がスマートフォンを取り上げたが、これに反抗したFは家を出てしまった。

携帯電話・スマートフォンを正しく利用するために

携帯電話・スマートフォンは、情報社会を生きていく中で大変便利な道具の1つですが、「情報を発信すること」、とりわけプライバシーに関する情報は慎重に取り扱わなければならない。SNSやコミュニケーションアプリは、複数の相手に同時に、そして瞬時に情報を伝達することができますが、表現の仕方による誤解からトラブルが起こったり、いじめの温床になったりすることがあります。

また、ネット依存に陥ると、ひどい場合には、抑うつ状態や無気力になるなど、心身に悪影響が出ることがあります。

情報社会の中で、子供たちが責任をもって携帯電話・スマートフォンを正しく利用できるように、規範意識や相手に対する思いやりの心を育むとともに、日頃から子供たちに正しい使い方を指導していくことが大切です。

「ネットパトロール」の実施

県青少年・男女共同参画課、県教育委員会、県警察本部が連携して、インターネット上の子供たちに関する誹謗中傷や個人情報を検索し、発見した際、その子供が通う学校等に連絡し、子供たちや保護者への指導を行っています。

和歌山県では、 このような 取り組みをしています



情報モラル講座の活用を推進

「e-ネットキャラバン(e-ネット安心講座)」等、情報モラル講座の活用を推進しています。また、保護者、教職員向けに県青少年・男女共同参画課が実施している「出張!県政おはなし講座」の「情報モラル講座」の活用を通じて、情報モラルの向上に努めています。

PTAと連携した 取り組みも広がっています

育友会でスマホ使用のルール作り

串本町立串本中学校では、育友会が学校と協力し、スマートフォン等の使用に関するルールを作り、全育友会員が子供に守らせるよう取り組んでいます。また、全校生徒を対象に、スマートフォン等の使用ルールをテーマにした「標語コンクール」を実施し、生徒の意識を高める機会としています。



PTA役員を対象とした研修会での啓発

現在、全国で子供のスマートフォン等の利用について考える動きが広がっており、県内でもPTAの役員を対象として、SNSへの写真投稿などのネットトラブルについて理解を深める研修会を実施しています。



「橋本市子どもスマホ宣言」

橋本市では、子供の健全な成長を願い、PTA・青少年育成市民会議・学校等が協働・連携して子供のスマートフォン利用について検討し、市長が「橋本市子どもスマホ宣言」を発表しました。

保護者の皆さまへお願い

マナーも携帯しましょう!

外出先で歩きながらスマートフォン等を使用することで、思いもよらない事故につながるケースが多発しています。周りのことを考え、マナーを守った適切な使い方について、家族で話し合ってみましょう。

家庭でルール作りをしましょう!

利用時間、利用場所、相手への思いやり、困ったときの相談など、家庭の中でルールをつくり、安全で有意義なインターネットや携帯電話の利用に努めましょう。

「フィルタリング」は必要です!

各メーカーやサイトでは、子供たちにふさわしいフィルタリングサービスを提供しています。また、県青少年健全育成条例では、子供が使用する携帯電話等を購入する際に、フィルタリングサービスを利用することが、保護者の努力義務となっていますので、積極的に活用しましょう。

困ったときは…

一人で悩まずに学校や教育委員会、または、県青少年・男女共同参画課や法務局、警察等の相談窓口にご相談ください。相談の際には、問題の画面を撮影したものや印刷したものを持参または送付いただければ有効な資料となります。



今年のインターハイは、近畿2府4県を舞台に熱戦が繰り広げられました。本県では、総合開会式のほか、陸上競技、剣道、ヨットの3競技を開催しました。

大会のスタートを切る総合開会式は、皇太子殿下のご臨席のもと、入場行進、優勝杯返

還等があり、選手宣誓で式典が締めくくられました。続いて行われた歓迎演技は、「絆・バトン」というテーマで、高校生が仲間とともに未来にはばたくというストーリーを、音楽やダンスなどで表現し、観ている方を感動の渦に巻き込みました。

各競技においても、本県選手の活躍が目立つとともに、多くの高校生の支えにより爽やかで素晴らしい大会となりました。

スローガンのとおり、それぞれの青春が風になって近畿の地を駆け抜けました。



●インターハイ上位入賞者

陸上競技	男子円盤投	中本 地洋 (和歌山工業高校)	2位
	男子ハンマー投	宮崎 慧二 (和歌山工業高校)	3位
バレーボール	男子	開智高校 (堀江・宇治田・濱中・東・田中・中川・藤敷・東方・長岡・井上・門原・岡本・住福)	3位
ソフトテニス	女子個人	笠井 佑樹・鈴木 梨沙 (和歌山信愛高校)	1位
	女子個人	小山 舞・黒田 麻衣 (和歌山信愛高校)	2位
	女子団体	和歌山信愛高校 (小山・黒田・山本・笠井・鈴木・山口・貝瀬・古田)	1位
柔道	女子57kg級	梓谷 菜々 (箕島高校)	3位
	男子74kg級	吉田 隆起 (和歌山北高校)	1位
レスリング	男子84kg級	辻 大成 (和歌山北高校)	2位
	チーム・スプリント	和歌山北高校 (布居・南・永橋)	1位
自転車競技	チーム・スプリント	和歌山北高校 (布居・南・永橋)	1位
カイトフィッシング	男子77kg級スナッチ	植 暁人 (紀北工業高校)	2位

ヨット	男子420級	高山 大智・中野 翔太・北尾 彰梧 (星林高校)	3位
	女子サール	尾崎 由依 (和歌山東高校)	2位
フェンシング	女子フルーレ	東 晟良 (和歌山北高校)	3位
	女子学校対抗	和歌山北高校 (東・莉央・巾下・東(晟良)・井川・竹中)	2位
カヌー	男子カヌースプリント・カヤックフォア(500m)	神島高校 (寛座・平田・山本・楠本・岡崎)	2位
少林寺拳法	女子単独演武	道根 綾乃 (伊都高校)	1位
	女子組演武	山崎 萌・早田 佳那子 (神島高校)	1位
	女子団体演武	神島高校 (濱中・平山・早田・谷口・津田・水谷・山崎・山本)	1位
	男子単独演武	恵中 崇敬 (神島高校)	3位
	男子組演武	橘 知希・萩原 亘 (神島高校)	3位
	男子団体演武	神島高校 (水永・北原・岩見・稲豊・佐藤・橘・萩原・小西)	1位

2015紀の国わかやま国体・2015紀の国わかやま大会で 中学生・高校生が活躍しました！

県内各地で最高の盛り上がりを見せた紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会。国体男女総合優勝に貢献した選手や大会で活躍した選手はもちろん、両大会を支えた小・中・高・特別支援学校の児童・生徒も、式典演技に参加したり、会場や道路を飾る「花のリレー」、また、「応援のぼり・旗」を作成したりと、一人一人が盛り上げに貢献しました。両大会を支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました！



2015紀の国わかやま国体 (中学校・高等学校) (1～3位入賞者)

陸上競技	少年女子A ハンマー投	桑原 翠 (日高高校)	3位
サッカー	少年男子	森下 尚人 (近畿大学附属新宮高校)	3位
		鈴木 玲弥・中丸 成生・上田 尚輝・尾崎 僚・和田 広矢・木村 波生 (和歌山北高校)	
		家本 大渡・西淵 寛斗・濱田 太郎 (初芝橋本高校)	
		古川 健人 (桐蔭高校)	
		田畑 篤郎 (かつらぎ町立笠田中学校)	
ボート	少年女子ダブルスカル	中川 裕仁 (和歌山市立紀伊中学校)	3位
		山田 汰寧・丸畑 結杜 (東大阪大学柏原高校)	
ホッケー	少年男子	北川 稜一郎 (賢明学院高校)	3位
		柳瀬 智矢・東 春樹・上野山 貴也・佐地 拓実・坂本 康佑・栗山 令央・濱中 裕太・西川 巧望・新界 柊斗 (箕島高校)	
レスリング	少年男子フリースタイル66kg級	平松 凌・栗本 拓哉・大西 航平・楠原 無量 (紀史館高校)	3位
	少年男子フリースタイル74kg級	三輪 優翔 (和歌山北高校)	
	少年男子グレコローマンスタイル55kg級	吉田 隆起 (和歌山北高校)	
	少年男子グレコローマンスタイル60kg級	堀江 耐志 (和歌山東高校)	
セーリング	少年男子420級	宇井 大和 (新宮高校)	2位
	少年男子レーザーラジアル級	高山 大智・中野 翔太 (星林高校)	
ウエイトリフティング	少年男子420級	矢野 伸一郎 (和歌山工業高校)	2位
	少年男子77kg級クリーン&ジャーク	田中 美紗樹・高野 芹奈 (関西大学第一高校)	
自転車	少年男子1kmタイムトライアル	植 暁人 (紀北工業高校)	3位
	少年男子チームスプリント	南 潤 (和歌山北高校)	
		布居 大地・南 潤 (和歌山北高校)	2位

自転車	少年男子スプリント	布居 大地 (和歌山北高校)	1位
	少年男子4km速度競走	永橋 湧也 (和歌山北高校)	2位
ソフトテニス	少年女子団体	小山 舞・黒田 麻衣・貝瀬 ほのか・笠井 佑樹・鈴木 梨沙 (和歌山信愛高校)	1位
馬術	少年女子馬場馬術競技	輪玉 もえか (田辺市立上芳養中学校)	3位
	少年女子自由演技馬場馬術競技	輪玉 もえか (田辺市立上芳養中学校)	3位
フェンシング	少年女子フルーレ	輪玉 海斗 (日高高校)	1位
剣道	少年男子団体	東 莉央・東 晟良・市下 可蓮 (和歌山北高校)	2位
	少年女子団体	赤阪 史洋・鈴木 太志 (和歌山工業高校)	2位
空手道	少年男子組手(個人)	小倉 進志・小幡 佳大 (桐蔭高校)	2位
	全種別組手(団体)	田中 佑弥 (田辺市立上芳養中学校)	2位
なぎなた	少年男子演技	藤田 心 (大阪学芸高校)	1位
	少年女子試合	田中 佑弥・岡田 朋美 (箕島高校)	2位
ボウリング	少年男子個人戦	石原 葉月 (近畿大学附属新宮高校)	1位
		西平 春菜 (和歌山信愛高校)	2位
高等学校野球	硬式	石原 葉月 (近畿大学附属新宮高校)	2位
		西平 春菜・岡 夕起菜 (和歌山信愛高校)	2位
		上村 弥奨 (近畿大学附属新宮高校)	2位
		齊藤 祐太・西山 統麻・春野 航輝・滝本 伶一・大石 海斗・高垣 鋭次・中尾 泰輔・野口 春樹・山本 龍河・中野 崇・金岡 秀太・下村 太輝・加藤 諒・岡崎 元希・北阪 太志・門脇 悠起 (智辯学園和歌山高校)	3位

2015紀の国わかやま大会 (中学部・高等部) (1～3位入賞者)

陸上競技	ソフトボール投げ	酒井 智裕 (和歌山盲学校高等部)	3位
	ソフトボール投げ	黒川 真菜 (和歌山盲学校高等部)	2位
	ソフトボール投げ	田邊 幸杜 (和歌山盲学校高等部)	3位
	ソフトボール投げ	亀井 直希 (和歌山さくら支援学校高等部)	2位
	ソフトボール投げ	杉浦 晴大 (はまゆう支援学校高等部)	3位
	100m	田邊 幸杜 (和歌山盲学校高等部)	3位
	100m	堀井 伴哉 (和歌山さくら支援学校高等部)	1位
	100m	小原 大翔 (はまゆう支援学校高等部)	3位
	100m	黒川 真菜 (和歌山盲学校高等部)	1位
	100m	堀井 伴哉 (和歌山さくら支援学校高等部)	3位
	100m	中屋 武留 (和歌山大学附属特別支援学校)	2位
	200m	堀井 伴哉 (和歌山さくら支援学校高等部)	3位
	200m	小原 大翔 (はまゆう支援学校高等部)	3位
	200m	中屋 武留 (和歌山大学附属特別支援学校)	2位
	800m	山本 昂城 (和歌山大学附属特別支援学校)	1位
	800m	下村 侑未 (和歌山ろう学校高等部)	3位

陸上競技	1500m	山本 昂城 (和歌山大学附属特別支援学校)	1位
	1500m	下村 侑未 (和歌山ろう学校高等部)	3位
卓球	走高跳	落合 隆也 (和歌山ろう学校高等部)	1位
	一般卓球	原代 采奈 (和歌山ろう学校高等部)	1位
	一般卓球	丸一 亜沙美 (和歌山ろう学校高等部)	2位
	一般卓球	長坂 真由美 (和歌山ろう学校高等部)	3位
	一般卓球	金谷 俊助 (はまゆう支援学校高等部)	3位
フライングディスク	アカユラシー ディスリート・ファイブ	松原 久起 (たちばな支援学校高等部)	1位
	アカユラシー ディスリート・ファイブ	岡本 潤生 (和歌山市立紀伊中学校)	3位
	アカユラシー ディスリート・ファイブ	殿山 智哉 (南紀支援学校中学部)	3位
	ディスタンス メンズ・スタンディング	松原 久起 (たちばな支援学校高等部)	3位
ボウリング	知的障害者の部・男子	岡本 潤生 (和歌山市立紀伊中学校)	1位
		宇戸 巧 (たちばな支援学校高等部)	1位
バレーボール		矢倉 卓尚・寺岡 彬人・田中 友章・中田 万葉 (紀北支援学校高等部)	3位

和歌山の中学生・高校生のきらめき！

インターハイ・国体・大会以外でも、様々な大会やコンクール等で多くの中学生・高校生が活躍しました。輝かしい成績(1～3位など上位入賞)をおさめた方々を紹介します。

平成27年度全国中学校体育大会 柔道(北海道)・水泳(秋田県)

柔道	個人女子44kg級	久保井 仁菜 (美浜町立松洋中学校)	2位
水泳	男子1500m自由形	宮本 竜成 (海南市立第三中学校)	2位

平成27年度第29回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会(福井県)

個人77kg級	森本 圭泉 (紀の川市立打田中学校)	2位
個人77kg級	藤谷 柊 (紀の川市立打田中学校)	3位

第99回 高等学校相撲金沢大会(石川県)

個人	菅野 陽太 (箕島高校)	3位
----	--------------	----

第58回 選抜高校相撲宇佐大会(大分県)

団体	菅野 陽太・吉川 慧・井田 翔太 (箕島高校)	2位
----	-------------------------	----

レッドブルフライングジェネレーション日本大会(ヨット)(和歌山県)

矢野 伸一郎 (和歌山工業高校)・藤木 一誓 (向陽高校)	1位
-------------------------------	----

2015年 ISAFユースセーリング世界選手権日本代表選考レース(和歌山県)

矢野 伸一郎 (和歌山工業高校)・藤木 一誓 (向陽高校)	日本代表
-------------------------------	------

2015年度国際420級ヨット世界選手権大会(佐賀県)

高山 大智・中野 翔太 (星林高校)	1位
--------------------	----

第12回 全国高等学校ARDF®競技会(新潟県)

144MHz帯M19クラス個人	西谷 裕太 (紀北工業高校)	3位
-----------------	----------------	----

第10回 IARU第3地域ARDF®選手権大会(群馬県)

144MHz帯クラシックM19クラス団体	西谷 裕太 (紀北工業高校)	3位
----------------------	----------------	----

ソーラーカーレース鈴鹿2015(三重県)

チャレンジクラス 団体	紀北工業高校	2位
-------------	--------	----

第39回 全国高等学校総合文化祭(滋賀県)

日本音楽	橋本高校	文化庁長官賞
放送(ビデオメッセージ部門)	那賀高校	優秀賞
放送(オーディオビジュアル部門)	那賀高校	審査員特別賞
写真	山田 遥香 (和歌山市立和歌山高校)	奨励賞

※ARDF…無線技術を使ったオリエンテーリング

第30回 国民文化祭がこしま2015エッセイフェスティバルショートムービーコンテスト(鹿児島県)

自由動画部門	那賀高校	文部科学大臣賞(第1位)
--------	------	--------------

平成27年度 第29回全国パソコン技能競技大会(愛知県)

団体	那賀高校	1位
団体	和歌山商業高校	2位
個人	小松 寛 (那賀高校)	1位
個人	三栖 洋佑 (那賀高校)	2位
個人	山本 幸 (那賀高校)	2位
個人	藤田 和希 (那賀高校)	3位
個人	川崎 健 (那賀高校)	3位
個人	荒木 大志 (那賀高校)	3位

平成27年度 全国高校写真選手権大会(北海道)

神島高校	優秀賞
------	-----

第32回 まちづくり標語懸賞募集

西川 実希 (有田市立文成中学校)	特選
標語「人々の居場所になれる町づくり」	
中谷 莉渚 (有田市立文成中学校)	準特選
標語「笑顔いっぱい 幸せいっぱい みんな集えば ぬくもりいっぱい」	

第63回 統計グラフ全国コンクール

佐原 萌花・嶋田 優紀 (有田市立初島中学校)	入選
-------------------------	----

(掲載した他にも多数の方が入賞しています)

和歌山県の子供たちの学力と学習状況

～平成27年度全国学力・学習状況調査の結果から～

平成27年4月21日に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、和歌山の子供たちの学力と学習状況・生活習慣について、お知らせします。

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象に文部科学省が実施しています。教科に関する調査は、主に「知識」に関する問題が出題される国語Aと算数・数学A、主に「活用」に関する問題が出題される国語Bと算数・数学Bに加え、今年は3年ぶりに理科の調査も行われ、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が一体的に出題されました。また、生活習慣や学習習慣に関する児童生徒質問紙調査（アンケート形式）も行われました。

全体的に、全国平均に近づく！ 小学校算数Aは全国平均を上回る！

本年度の教科に関する調査は、以下の結果となりました。全体的に、全国平均との差が縮まり、改善傾向にあります。また、小学校算数Aは全国平均を上回りました。



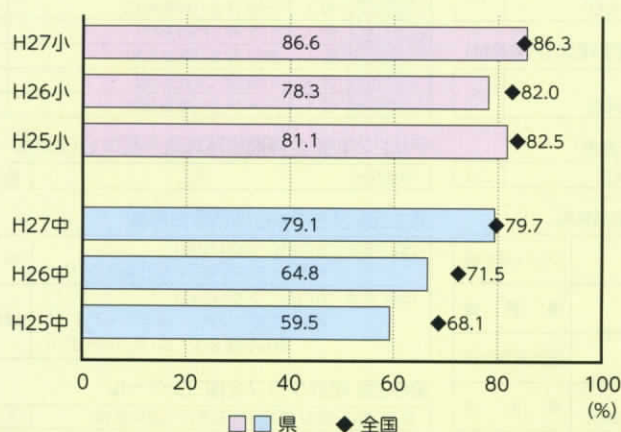
【和歌山県(公立)と全国(公立)の平均正答率(%)】

	小学校					中学校				
	国A	国B	算A	算B	理	国A	国B	数A	数B	理
県	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

よりよい授業に改善！ わかりやすい授業が増加！

授業づくりの基礎・基本として大切にしている「授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う割合」も改善し、児童生徒が授業において目的意識をもって学習にのぞむことができる環境が整ってきました。

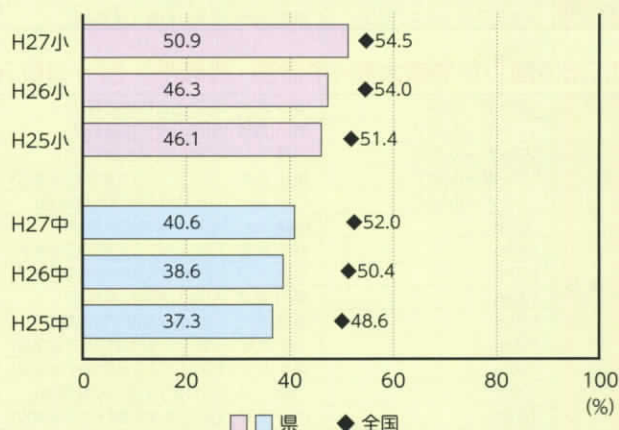
授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う割合



復習をする割合に課題！ 家庭学習の手引き等の活用を！

「家で、学校の授業の復習をしている割合」は、小中学校ともに、年々改善傾向にあります。全国平均と比べると差がある状況です。各学校で配付する家庭学習の手引き等を活用し、宿題だけでなく、家庭学習の内容を改善することも大切です。

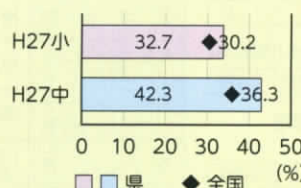
家で、学校の授業の復習をしている割合



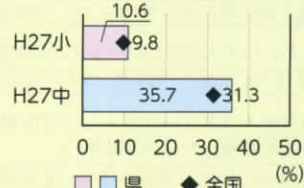
メディアを使用する時間に課題！ ゲームやスマートフォン使用のルールを！

「テレビゲームを1日当たり2時間以上する割合」や「携帯電話等で通話やメール、インターネットを1日当たり2時間以上する割合」は、本県児童生徒の大きな課題となっています。家庭では、ゲームやスマートフォンを使用する際のルールを作り、ルールを守って生活できるように話し合ってください。学力向上はもとより、将来、メディアを上手に活用するための、大きな力になります。

テレビゲームを1日当たり2時間以上する割合



通話やメール、インターネットを1日当たり2時間以上する割合



展示イベント

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)、入館料は高校生以下は無料です。
※詳しくは各館のホームページをご覧ください。

県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

『生誕110年 村井正誠展 ひとの居る場所』
むらいまさなり

会期 12月18日(金)～2月14日(日)



和歌山県新宮市で育った画家、村井正誠(むらいまさなり、1905～1999)。ひとが時代と場所を越えて繋がりあえる絵画を求めて、描き続けた生涯を回顧する展覧会です。

村井正誠「クリジフィ」

県立紀伊風土記の丘 和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

ミニ展「ジュニア考古学研究応募作品展」

会期 12月23日(水・祝)～1月11日(月・祝)



県内の小・中学生が取り組んだ考古学や歴史学に関する研究作品を展示します。

遺跡に出かけたり、資料を調べたりした見事な作品をご覧ください。

県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

企画展「紀州の四季を描く」

会期 12月12日(土)～1月17日(日)



かつて、人々は現在よりも、より強く四季の移り変わりを感じていました。この企画展では、江戸時代の紀州の画家による山水図や風景画の中にあらわされた、四季の風景を描いた作品をとりあげます。江戸時代における、人々の季節感をご鑑賞ください。

野呂介石「那智三瀑図」

県立自然博物館 海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

「クイズで楽しむ自然博物館-自然博物館検定-」

開催日 1月24日(日)



いつもは何気なく見ている自然博物館の展示には、いろんなところにオドロキや発見が隠れています。このイベントでは館内のすみずみまで観察しながらクイズを解いてもらいます。

きっと普段は気が付かなかった新たな発見が見つかるはずです!

- 参加費 無料(入館料が必要。ただし、高校生以下は無料)
- 参加方法 当日館内にて受付

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

県立図書館郷土資料の展示「真田幸村と和歌山」

展示期間 12月11日(金)～2月11日(木)

展示場所 県立図書館1階閲覧室

県立図書館エントランスコンサート

日時 1月8日(金) 12:00～12:30

場所 県立図書館2階エントランス

内容 プロ演奏家による無料ミニコンサート

※詳しくは、県立図書館ホームページをご覧ください。



『新しい登録有形文化財(建造物)が決まりました』

国の文化審議会で、新たに和歌山市の友ヶ島灯台と御坊市のなかがわ(旧中川家住宅)主屋、東蔵、西蔵の2箇所4件が登録文化財になりました。

友ヶ島灯台は、日本最初期の洋式灯台の一つであり、明治5年(1872)に完成し、今も海の交通安全を守るために使われています。

登録有形文化財制度は、開発などで取り壊されようとしている多くの古い建物を次の時代に伝えるための制度で、現在、県内で201件の貴重な建造物が登録されています。



友ヶ島灯台

子どもの安全・安心サポートマニュアル「見逃さないで!子どものSOS」

平成27年2月20日に、川崎市で中学1年生の少年が殺害されるという痛ましい事件が発生しました。被害者になった少年は、友人にSOSを発していましたが、その声は学校や周りの大人には届きませんでした。県教育委員会では、県内でこのような悲しい事件が起こらないように、子供の安全・安心を守るための基本的な対応マニュアルを作成しました。

本マニュアルを公立小・中・高等学校、特別支援学校のすべての教職員に配付するとともに、県振興局や警察署等にも配付し、子供たちの安全・安心を守る取り組みの一層の促進を図っています。



本マニュアルは、和歌山県教育委員会ホームページ、または「和歌山県子どものSOS」検索でご覧いただけます。

まず逃げよう! 自分と他人の命を守るため



津波避難3原則

- ①「想定にとらわれない」
- ②「最善を尽くせ」
- ③「率先避難者になれ」
(片田敏孝 群馬大学大学院教授 提唱)

県教育委員会では、自然のもつ二面性(恩恵・災害)を理解し、ふるさとを愛し、いざという時、行動できる子供たちを育てるために、防災学習や避難訓練などの防災教育に取り組んでいます。

毎月1日・15日 子ども見守り強化の日です!!

警察・防犯ボランティア・地域の方などが警戒活動やパトロールを行い子供たちを見守ってくれています。

実施時間:登下校の時間帯 実施場所:小学校の通学路



教育長 エッセイ

教育長 宮下 和己

「本を読む」

読書の大切さはよく言われますが、皆さん、本は読んでいますか。この冊子の6ページに、テレビゲームや携帯電話の使用が2時間以上という子供たちの多いことが指摘されています。これでは、とても本を読む時間は…。

福澤諭吉氏は、「学問のすすめ」の中で、「読書は学問の術なり、学問は事をなすの術なり」と書いています。本を読むことの大切さ、学問の必要性、そして学ぶこ

との意味を説かれていると思います。一方、今日の学問はというと、あらゆる面で分化し、専門化し、技術化しており、ともすれば、大局的にものをみることを見失いがちになることが心配です。将来を生きる子供たちには、ぜひとも、視野の広い識見の高い人間、「高い教養」をもってほしいと思います。

教養とは、学問によって育成されることが大きいのですが、単なる「物知り」ということではありません。これからの新しい時代に求められる教養とは何か。それは、「変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点、多面的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していく力」とも言われています。なかなか大変なことですが、高い教養を確かなものにするためには、生涯を通じて学び続ける力が求められま

す。そして、傍らには常に本があるので

す。皆さん、本に親しみ、知識と智恵を授かり、先人の様々な人生に触れてみましょう。本を通して世界が広がり、それぞれの歩むべき道が見つかるかもしれません。そして、人生にも節目があります。ちょっと辛い時、苦しい時、あるいはターニングポイントに立った時、人生を歩む道すがらに、人は「言葉の持つ力」に励まされたり、進むべき方向を指し示してくれることが必ずあるのです。人生を歩む道すがらに、人と人との素晴らしい出会いとともに、多くの本と言葉に巡り会ってほしいものです。

本から知識を得る、人から現場から知恵を授かる、体験で本当の姿を知る。それらが互いにうまく作用しあって、生きていく力が身に付くのではないのでしょうか。

先生

がんばってます!



「子供の命を守る取り組み」

にし ざき たか ひろ
県立みくまの支援学校 西崎 貴大 先生

熊野灘を近くに望む新宮市蜂伏の丘にある「みくまの支援学校」に勤務する西崎貴大先生。今年、同校で11年目の勤務となります。中学部3年生のクラス担任として、いつも元気に大きな声で子供たちと関わりながら、笑顔が絶えないクラス作りをめざしているそうです。

みくまの支援学校のある地域は、南海トラフに近く、地震発生時には激しい揺れと津波の襲来による甚大な被害が想定されていることから、学校では大規模地震から身を守るための様々な取り組みを行っています。今年度、新たに発足した「学校防災プロジェクト」のリーダーとして、校内施設の安全化や避難訓練、子供たちへの防災教育などで大きな役割を担っています。

西崎先生たちは、教職員全員による災害演習を企画し、何度

も繰り返し実施したそうです。学校では、教室や廊下の安全な場所に青いマットを敷きセーフティゾーンを設置、緊急地震速報時に避難する場所をわかりやすくしました。子供たちが先生と一緒にセーフティゾーンに避難し、低い姿勢を取り、先生が子供たちをかばう格好で取り囲むことで、落下物や家具の転倒から子供たちを守り、子供たちの不安な気持ちも減らすことができるそうです。

「地震がきたら青いところ(青いマット)へ」を合い言葉に、迅速に避難できるよう訓練を重ねています。

近い将来、起こりうるであろう東海・東南海・南海地震、または、南海トラフ地震に備えるため、学校防災プロジェクトのリーダー、西崎先生を中心に教職員が一丸となって、みくまの支援学校が掲げる「子供の命を守る取り組み」が充実していくことを期待しています。



教育テレビ番組 はばたく紀の国 ～教育は今～

第1・3日曜日の午前10時30分～10時50分にテレビ和歌山で放送しています。



- 9/20 ● 風になれ 今 青春が走りだす～2015 インターハイを振り返って～
- 10/18 ● 弘法大師を想い、高野山を訪ねる!
～高野山開創1200年記念特別展「弘法大師と高野参詣」～
- 11/1 ● 自然災害への備え～遺跡からの警告～
- 11/15 ● すべての子どもに豊かな教育を!～特別支援教育の更なる充実～
- 12/6 ● 躍動と歓喜、そして絆
～紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を振り返って～
- 1/17 ● 文化財を未来に伝える～建造物の保存・修復～
- 2/7 ● 未来へ、生き生き、子どもとともに!～学び続ける教員、奮闘記～
- 2/21 ● 子どもたちに本の魅力を!～ビブリオバトルなど様々な取り組みを通して～
- 3/6 ● 和歌山・海プロジェクト(ヨット体験会)
～紀州っ子体力アップに向けた取り組み～
- 3/20 ● 和歌山の子どもに確かな学力を!
～和歌山県学力向上対策中期計画の実行～

※すべての番組に手話通訳が付きま

※番組内容、放送時間は都合により変更する場合があります。

教育広報
ラジオ放送

定期便 教育の窓

学校や地域の特色ある取り組みなどを取り上げながら番組を制作し、和歌山放送で放送しています。

放送日時 第2、第4土曜日 8:45～9:00

本年度、第13回～第18回放送予定

- 11/14 ● 串本西中学校「スクールバス避難訓練」
- 11/28 ● 地域で進める人権学習～人権学習ファシリテーターと参加体験型人権学習～
- 12/12 ● 「きのくに県民カレッジ」の取組の紹介
- 1/23 ● 地域に根ざした図書館をめざして
- 2/13 ● どの子も満足する学校の実現に向けて～Q-Uを活用した学校の取組～
- 2/27 ● 橋本市立あやの台小学校の「総合的な学習の時間」の取組
～地域に根ざしたあやの台カリキュラム～

※都合により、放送内容が変更になる場合があります。



※テレビ・ラジオとも、これまで放送した番組については、和歌山県教育委員会のホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。

和歌山県教育委員会事務局 総務課

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取り組みを行っています。

詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。

また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

和歌山県教育委員会

検索

